

新富町

まちづくり実施計画

【概要版】



1 はじめに

わが国は、「人口減少時代」に突入しており、このままでは、人口減少による地域経済の縮小や生活水準の低下を招くなど地方の衰退が懸念されています。

本町においても、加速度的な人口減少が予測されており、「人口減少が地域経済の縮小を招き、地域経済の縮小が人口減少をさらに加速させる」という悪循環に陥り、町の弱体化が危惧される状況にあります。

さらに、本町では、航空自衛隊新田原基地の運用から生じる音響により、町民生活や事業活動が阻害される状況が続いており、事業所の当区域外への移転と、それに伴う基地周辺財産の増加・混在による土地利用の制約が事業活動の低迷と地域の空洞化をもたらしています。

本町においては、これらの課題を克服するため、新田原基地をはじめとする多彩な地域資源を効果的に連携させ、交流人口の増加と町内各地域への周遊を促し、「交流」と「地域活性化」を契機とした「まちづくり」の実現による「しんとみ創生」を目指すことを目的に、この「新富町まちづくり実施計画」を策定しました。

2 基本方針と基本目標

基本方針

1 持続可能な「まち・ひと・しごと」づくり
6次産業化等によるフードビジネスの推進等、地域経済の活性化と快適な定住環境を創出する。

2 まちづくり資源の特性を活かし、町の魅力をコンパクトにつなぐ拠点づくり
新田原基地をはじめとする本町の魅力ある地域資源の連携・集積を図り、「ひと」の交流と循環を促し、「まち」の賑わいを生み出す。

3 観光ネットワークのゲート機能の確立と町内周遊ネットワークづくり
児湯郡をはじめ、東九州地域のゲート空間（入口）として、「通過するまち」から「目的地のまち」に転換し、町内の地域資源や観光拠点を快適に周遊・滞在できるネットワークを形成する。

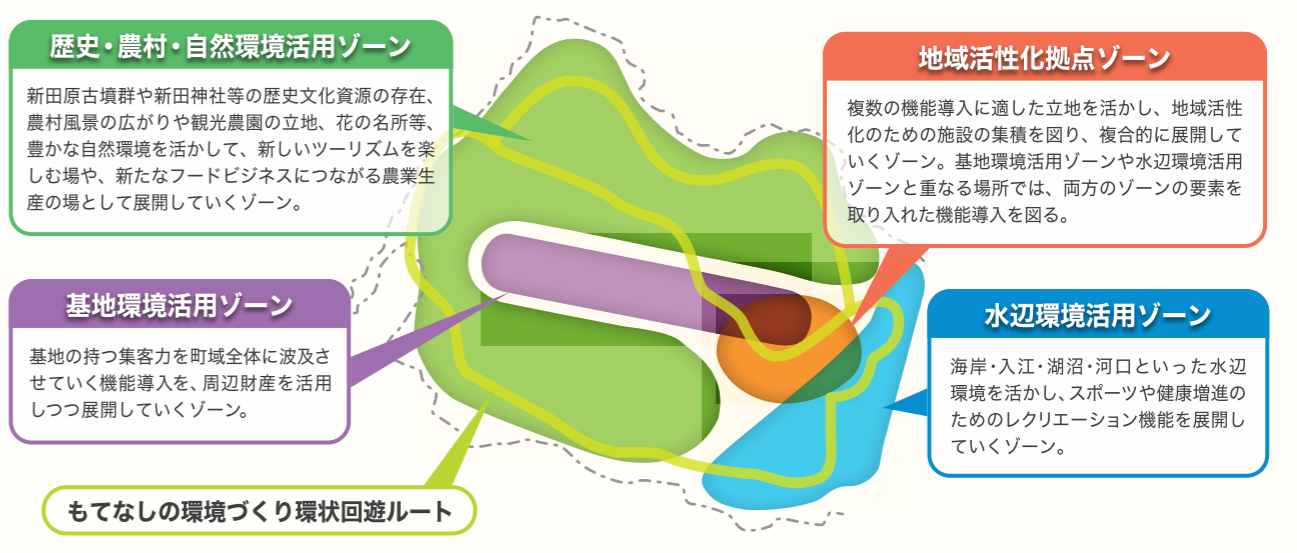
基本目標

1 しんとみ 安全・快適ライフスタイルのまち
安全・安心で充実したライフスタイルを表現し続けるまち

2 しんとみ 千客万来のまち
「しんとみ」ならではのワクワクと賑わいを発信し続けるまち

3 しんとみ 異空間ツーリズムのまち
斬新な発想で、学び、ふれあい、味わいの機会を提供し続けるまち

3 まちづくりゾーンと地域活性化拠点の位置



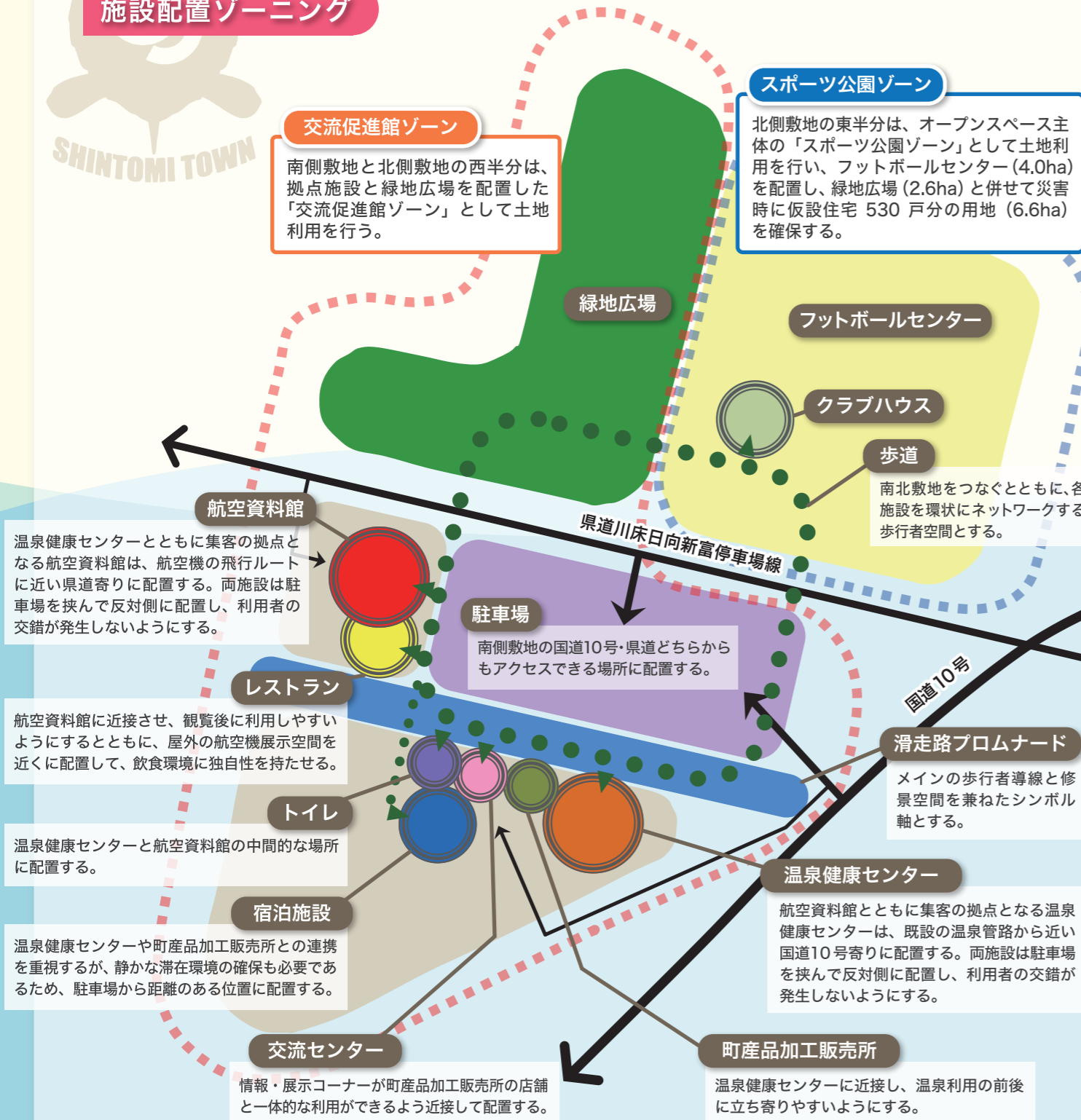
4 地域活性化拠点の施設構成

新田原基地をはじめとする地域資源を効果的に連携させる当拠点施設の整備を通じて、当該基地の存在に対する理解を深め、自衛隊と地域住民の交流を促進するとともに、市街地や周辺地域の活性化を推進し、「まち」の賑わいと活力を創出する。

名称	想定規模	概要
温泉センター	延床面積 2,000㎡	健康増進機能の充実を図るための温浴健康施設 目標とする年間利用者数：250,000人
交流センター	延床面積 500㎡	地域の情報発信や展示空間、会議室・研修室を備えた地域や住民の交流を図るための施設
航空資料館	延床面積 2,900㎡	航空科学に関する学習や新田原基地の役割・活動内容に関する資料等の展示・解説を行う施設 目標とする年間利用者数：200,000人
緑地広場	敷地面積 26,000㎡	シンボリックな修景空間や交流イベント空間 災害時、フットボールセンターと併せて仮設住宅530戸を建設できる用地を確保
駐車場等	敷地面積 15,750㎡	国道10号や東九州自動車道からの車利用に対応した利便施設（サイクルエイドステーション敷地面積70㎡及びEV充電ステーション敷地面積30㎡を含む） 国道10号の24時間交通量：22,267台（平成22年度道路交通センサスによる）
駐車場	敷地面積 15,000㎡	
トイレ	延床面積 300㎡	
町産品加工販売所	延床面積 300㎡	農畜産物等の町産品を中心に加工・販売を行う施設
宿泊研修所	延床面積 1,600㎡	ファミリー・合宿利用等に対応できる宿泊施設 目標とする年間利用者数：13,000人
レストラン	延床面積 700㎡	地域活性化拠点施設の来場者へ本町の農畜産物等を活用した飲食物の提供を行う施設
スポーツ公園	フットボールセンター	敷地面積 40,000㎡ 災害時、緑地広場と併せて仮設住宅530戸を建設できる用地を確保 想定される年間利用者数：76,000人
	サッカーコート等	敷地面積 39,250㎡ サッカーをはじめとするスポーツ等を通じた交流を図ることのできる施設（サッカーコート：2面）
	クラブハウス	延床面積 600㎡ フットボールセンター利用者や憩いの場としての利便施設
合計	延床面積 8,900㎡	用地面積 約13ha

地域活性化拠点は建築物が8施設（温泉健康センター、交流センター、航空資料館、トイレ、町産品加工販売所、宿泊研修所、レストラン、クラブハウス）、オープンスペースが主に3種類（緑地広場、駐車場、フットボールセンター）で構成されます。

施設配置ゾーニング



施設配置計画



「新富町が未来へ離陸する滑走路」をランドスケープのテーマとして修景演出を行います。

地域活性化拠点 鳥瞰パース



滑走路ガーデンのイメージ



様々な町内産の花卉をボーダー状に修景した、新しい花名所の創出

滑走路プロムナードのイメージ



滑走路をイメージした舗装と航空機の展示によるシンボル軸空間の創出